

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日)

特定非営利活動法人 熊本県民天文台

1. 事業実施の方針

熊本県民天文台は、広く一般市民に対して、天文研究と天文台の一般公開等を通じて、天文知識の普及・向上に努め、理科教育の振興と天文学の進歩に貢献すること、ならびに光害の防止等を通じて環境の保全とまちづくりの推進に寄与することを目的として、新型コロナウイルス感染拡大中ですが下記の事業を行いました。

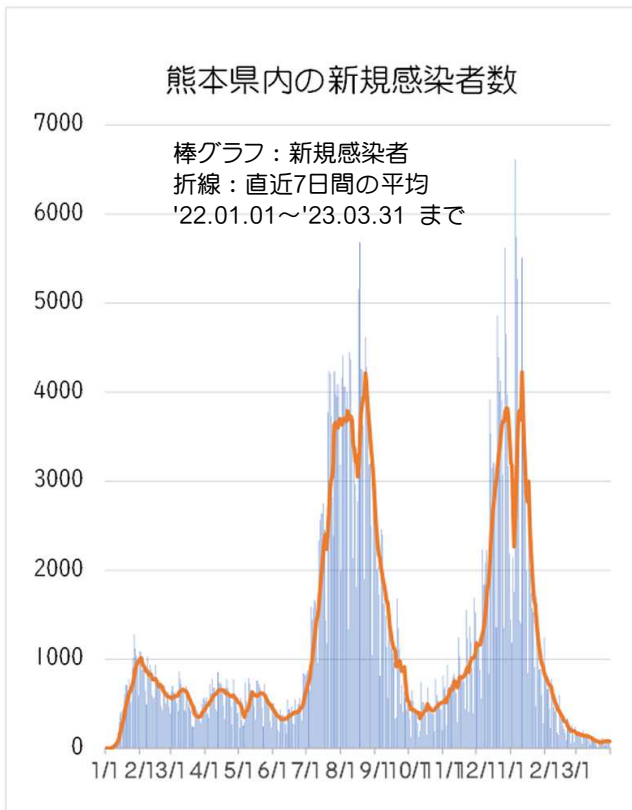
2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲 及び人数	支出額 (千円)
一般公開	天文台の一般公開 感染防止、野外で公開中 屋外用スクリーンを追加 電視観望システムを使用 ポータブル電源を増強	毎週 土曜日 の夜 (休止)	天文台	1~5名 /日 延75名	一般市民等 18名 (利用者総数)	4 1
	体験学習・出張観望会 団体向け天体観望等実施 体験学習、天文講座 電子紙芝居上演等 電視観望システムを活用	通年 計4回	天文台 県内 各地	延べ 87名	市民・学校・ PTA・子供会 公民館等 543名 (出張：282名)	
	解説の制作・配布 「星の観察自由研究入門」、 天体写真で宇宙を解説	通年	県内 ほか	4名	学校・公民館・ 教育施設・ 市民団体など	
天文研究 天文教育 普及等	天体観測、天文教育 天文知識の普及 電話での質問に解説 県環境センター「星の観察」 城南図書館展示コーナー 自動導入・電視観望を紹介	通年 通年 中止 5 回	天文台 メール 電話 Web 出張	1~4名 /回	一般市民・大学 PTA・学術団体 理科教育団体 子育て支援団体 公民館・市民セ ンターなど、	5 3
星空の 見える まちづくり	光害の防止による環境の 保全と、まちづくりの推進 各種講座で問題提起	通年 4 回	観察会 Web メール	1~4名 /回	市民・市民団体 企業、自治体、 大学・NPO法人	1 7
会誌等の 発行	会誌の発行 その他の印刷物 Webページの制作・運営	会誌は毎月 通年	天文台 県内 ほか	4~7名 /月	会員、図書館 他、80部/月 一般市民等	9 6

2022年度 熊本県民天文台活動実績

特定非営利活動法人 熊本県民天文台



■ 活動の概況

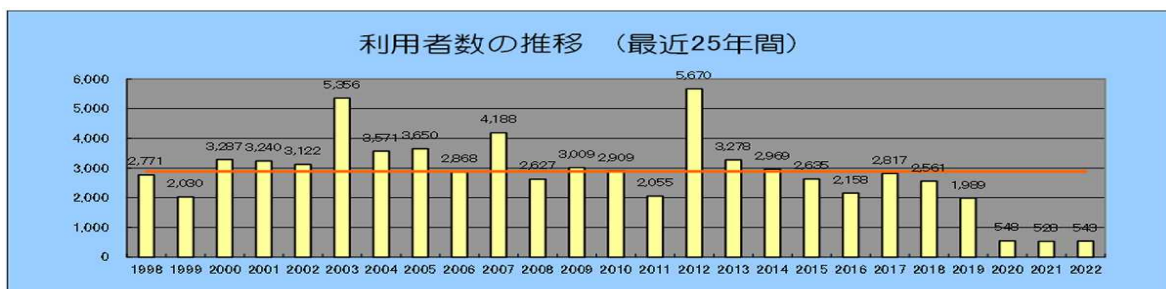
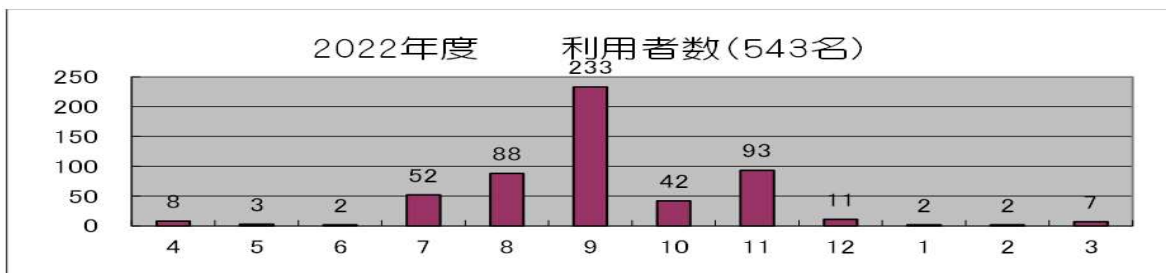
2022年度は、新型コロナウイルス（オミクロン株）による数次にわたる爆発的な感染拡大が発生しました。そのため、様々な感染対策を施したにもかかわらず、年度を通して一般公開を休止せざるを得ない状態が続きました。

主にボランティア個人の努力によって新しい機材を投入し、大型スクリーンに投映しての解説を野外での出張観察会でも実施できるようにしました。また、星空と天体を電視観望するための機材も増強。スタッフを含む参加者同士の社会的な距離をしっかりと確保するなど、感染防止対策も強化しました。

しかしながら、感染のリスクを避けることが難しい状態だと判断したため一

般公開を休止。主催者側で十分な感染防止対策を実施できる団体向けのイベントだけを受託する方針をとったため、利用者数はこれまでのコロナ禍での2年間と同程度の少なさに留まりました。一方で、一般公開の休止中も、電話やメールでの問い合わせへの対応は続け、様々な情報提供や解説を行いました。

熊本県における新型コロナの感染者数は上のグラフのような推移です。直近7日間平均の1日あたりの新規感染者数が2023年3月になってようやく「100名以下に減少した」という状態です。それで、2023年4月から、ようやく一般公開を再開できる見通しになりました。



■ 一般公開

感染のリスクを避けるため、年度を通して一般公開を休止しました。

■ 天文研究・教育と普及

2022年度は、高齢者を対象とした「さわやか大学校」において「星空を見上げて宇宙を探る」という題での講座を開設しました。熊本さわやか長寿財団からの要請によるものです。熊本県民天文台での一般公開や団体向けの観察会に参加した方々からの推薦があり、「天文講座」を開講することになりました。このように「天体観察会」や「天文講座」はコロナ禍でも引き続き好評です。開催時は感染防止を最重要課題として提起し、実施しています。

熊本市城南図書館・児童館のエントランスホールの展示コーナーでは、平成27年度から「星空や宇宙」についての解説を季節毎に更新しながら継続して展示中。展示内容を工夫しつつ、幅広い利用者層に分かりやすい解説を提供しています。2022年度も春・夏・秋・冬それぞれ展示を更新し、その時期に見られる天文現象や観察の仕方なども紹介しました。



熊本県博物館ネットワークセンター主催の「フィールドミュージアム 星の観察会」は、夏と秋の2回を開催することができました。観測用の電子機器と機材を活用した「電視観望」という取り組みは、「スマホで月や星空を撮影」の取り組みと相まって、参加者の興味や関心を掘り起こし続けています。

2022年度は他にもたくさんの開催要請をいただきました。新型コロナウイルスの爆発的な感染が断続的に続いていましたので、主催者側にて参加者の管理が十分にできる場合だけ開催を受諾。社会的な距離の確保など感染防止の取り組みをお願いしながら運営しました。

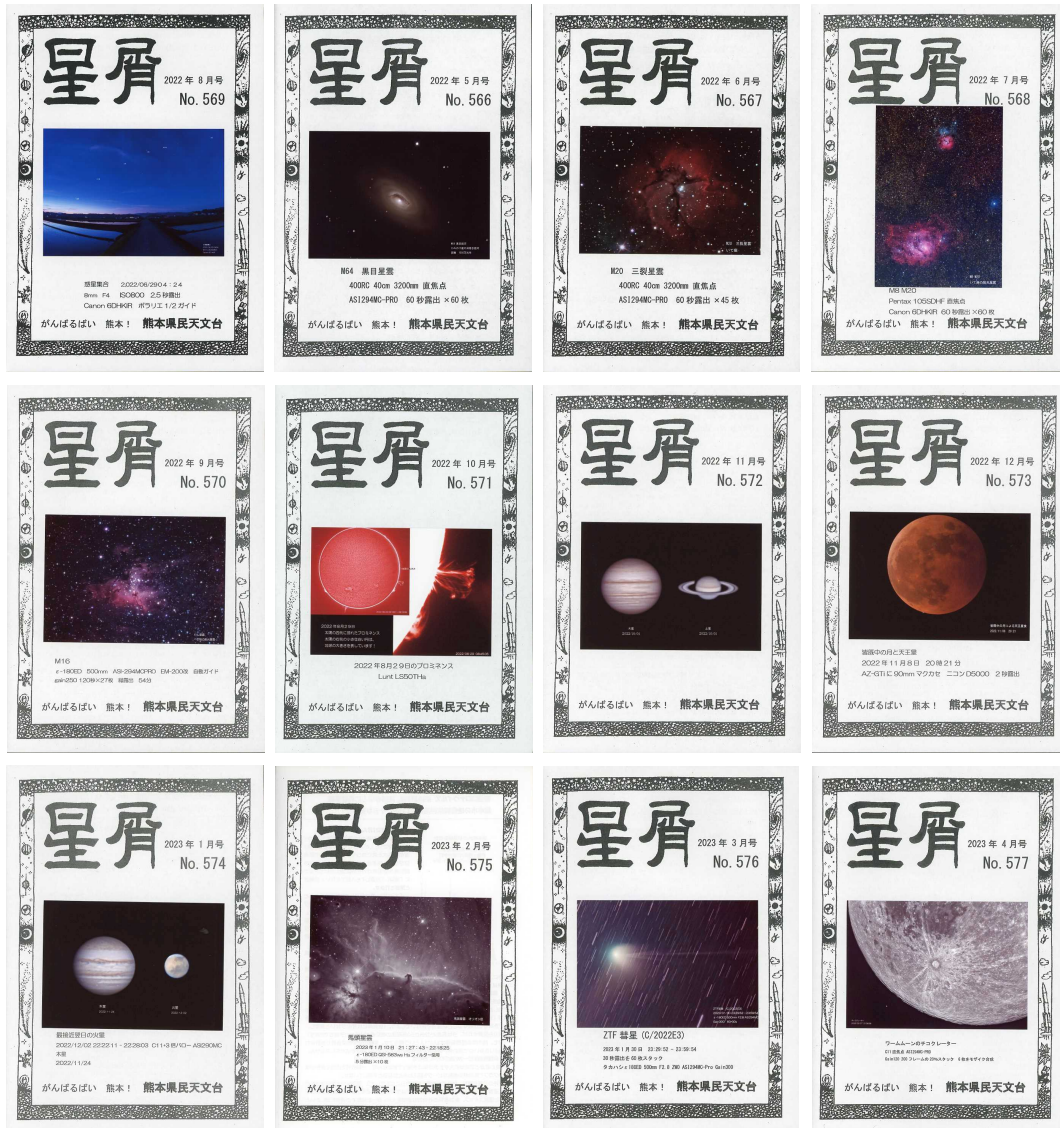
■ 環境の保全と光害対策

2021年度に導入したポータブル電源と太陽光発電パネルが2022年度も活躍。野外で開催した団体向けの星の観察会では、解説用のパソコンやプロジェクターに再生可能エネルギーを使った電源を供給。そのことを星の観察会の度毎に積極的に発信しました。光害防止の啓発活動を更に発展させつつ、日常の取り組みの中で繰り返し啓発を重ねていきます。

■ 会誌の発行

「会誌の発行」事業では、毎月「星屑」^{ほしくず}80部を発行しました。(566号から577号まで)

機関誌「星屑」の発行は休むことなく継続しており、一般公開や出張観察会、観測報告など幅広い情報を発信し続けています。「星屑」は、県民天文台を構成する会員に毎月送付されるだけでなく、各号を熊本県立図書館・熊本市立図書館並びに熊本市城南図書館などの公共施設に寄贈したり、Web上で公開したりして、広く市民への閲覧に供しています。



■ これからの課題

新型コロナウイルスはこれからも変異種の出現が続くと予想され、早期に完全収束するとは期待できません。これまでの常識や手法が通用しない時代がこれからも続くと想定で、次の時代につながる運営手法を考え、試行し、確立していく必要があります。

感染の拡大を防止しながら社会のニーズに応じていくにはどうすれば良いのか、一つのアイデアを形にして実践し、実施後に検証。引き続き新しい形での事業展開を工夫しながら、2023年度も事業の再開と継続に取り組む必要があります。

また、感染防止の観点からは運営スタッフ各自が使用する機材を使い回ししないで済むよう、個人専用の解説機材を確保した方が良く考えています。それらの新しい機材を確保するため、新たな資金をどのように確保するかも引き続き重要な課題になっています。特に機材を必要とする団体向けのイベントで、行政側の予算や講師料の増額が難しいため、参加者からの寄付金を得られるよう、柔軟な改善が必要です。

令和4年度（2022年度） 活動の詳細

新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大が続いたため、年度を通して熊本県民天文台での一般公開を休止しました。一方で、主催者側において十分な感染防止策を実施できる場合に限り、団体向けの星の観察会や天文講座を受諾しました。2022年度に実施した主な行事は以下の通りです。記載の他にも、普及活動、観測や研究、Webやブログ・メーリングリストを使った活動、電話での質問への対応など、幅広い活動を行っています。

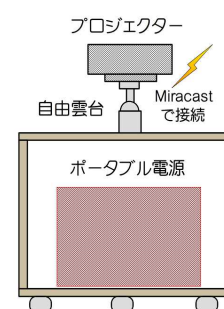
2022年度に実施した主な行事

4月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 4/3（日）40cm望遠鏡で撮影、光軸合わせも実施
- ★ 4/4（月）彗星観測室を整備
- ★ 4/7（木）運営日誌（3月分）を確認
- ★ 4/8（金）星屑用紙、電気代納付書確認
- ★ 4/9（土）彗星観測ドーム内整備作業
- ★ 4/18（月）草刈作業
- ★ 4/20（水）彗星観測ドーム内の望遠鏡を調整

※ 設営と撤収の作業を軽減すべく、機材改良を計画 →



5月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 5/09（月）熊本県民天文台総会・理事会を開催
- ☆ 5/10（火）事業報告書・税の減免申請書等を提出



最少の人数(3名)で総会を開催

6月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 6/1（水）草刈作業
- ★ ☆ 公開再開準備で、機材の改良作業
- ★ 6/20（月）草刈作業



改良後の解説用機材

7月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 7/7（木）「星屑」発行作業
- ☆ 7/14（木）さわやか大学校（熊本）で「講座」
「星空を見上げて宇宙を探る」
- ★ 7/25（水）城南図書館用展示物準備作業
- ☆ 7/26（木）城南図書館児童館ロビーの展示を更新



8月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 8/ 1(月) 草刈作業
- ☆ 8/ 2(火) さわやか大学校（八代）で「講座」
「星空を見上げて宇宙を探る」
- ☆ 8/ 5(金) 長洲町で「星の観察会」、長洲町教委主催、
組み立て式の屋外用100インチスクリーンを使用
- ★ 8/ 6(土) 帰省中の2家族が来台、月・土星など観察、
面をスマホで撮影
- ★ 8/22(月) 草刈作業
- ★ 8/26(金) フィールドミュージアム「夏の星空」



感染防止策を徹底して団体イベントを開催

9月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 9/ 2(金) 彗星観測ドームの風対策
- ★ 9/ 9(金) フィールドミュージアム「月の観察」、観察とスマホでの月面撮影
- ★ 9/19(月) 草刈作業
- ☆ 9/21(水) 熊本支援学校の「星の観察会」、豊野少年自然の家で開催
- ☆ 9/29(木) 城南図書館児童館ロビーの展示を更新
- ☆ 9/30(金) 天草市、本渡北小で「星の観察会」、組み立て式の屋外用スクリーンを使用



10月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 10/13(木) 環境センターでの「星空観察会」の打合せ
- ★ 10/17(月) 草刈作業
- ☆ 10/23(日) 熊本県環境センターで「星空観察会」、
木星や土星を望遠鏡で観察でき、参加者が大喜び!
組み立て式の屋外用スクリーンを使用



11月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 11/ 5(土) ミーティングルームの古いテレビを搬出
- ☆ 11/ 6(日) ミーティングルームに代わりのテレビを搬入
- ☆ 11/ 8(火) 皆既月食と皆既中の天王星食を観測室で撮影
運営スタッフ各自が皆既月食と皆既中の天王星食を、
それぞれの観測場所・機材で撮影



皆既月食中の赤い月(天王星食直前)

12月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 12/ 3(土) 天文台の大掃除を実施
- ☆ 12/ 5(月) 城南図書館児童館ロビーの展示を更新
- ★ 12/22(木) 郵便物等を確認



1月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 1/12(木) 星屑発行準備・郵便物確認等
- ★ 1/30(月) 機材を確認・搬出、ZTF彗星の撮影を継続中

2月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 2/20(月) 彗星観測ドームの機材保守作業
作業中に来台者、公開休止中だが観測室の望遠鏡を説明

3月のイベント

※ 一般公開休止中

- ★ 3/ 5(日) ミーティング室のエアコンを点検
- ☆ 3/ 7(火) 城南図書館児童館ロビーの展示を更新
- ★ 3/26(日) 1/4 (土) から、一般公開を再開すると決定
- ★ 3/29(水) 「天体望遠鏡を買ったが、組立方と使い方が分からない」と電話での問い合わせ
来台して頂き、玄関前広場で望遠鏡を組み立て、使い方を説明
- ☆ 3/29(水) ホームページを更新、「一般公開を再開する」と明記
ホームページ更新後、電話での問い合わせが急増!
- ☆ 3/30(木) 一般公開時に使用する解説用の機材を点検
- ☆ 3/31(金) 一般公開時に使用する解説用の機材を点検